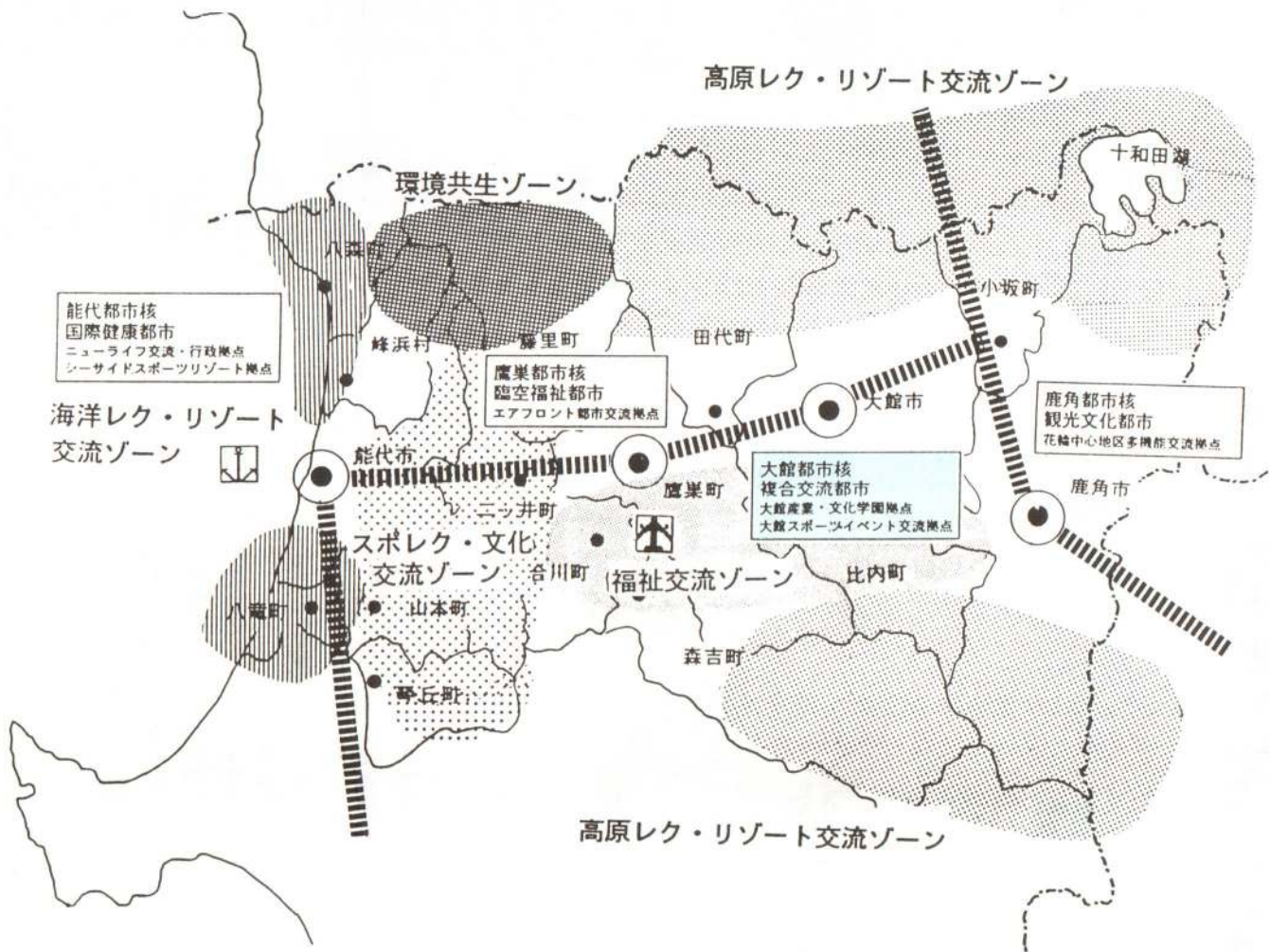


# 米代川流域地方拠点都市地域

## 役割分担とランドデザイン



### 地方拠点都市地域の 将来像

の向上を目指して、様々な分野にわたる事業が盛り込まれています。

○大館能代空港を生かした域外との交流圏の形成  
本地域では大館能代空港が平成十年に開港する予定で、それによって大都市圏との時間的距離は大幅に短縮されます。そこで、大館能代空港を活用し、圏域の個性である豊かな自然を生かしながら、人・物・産業・文化など様々な分野で域外との交流圏を形成します。

○高速交通体系を生かした産業・

### 「大館都市核の特色」

- ▽位置付け  
複合交流拠点
- ▽工業  
情報、デザイン等を志向する都市型工業
- ▽商業・流通  
都市型広域小売業、商店街近代化
- ▽業務サービス  
北東北ビジネス交流拠点
- ▽研究開発  
電子工業、情報、デザイン
- ▽観光・リゾート  
都市近郊リゾート
- ▽教育・文化  
業務中枢機能、高等教育機能

### 都市機能の形成

日本海沿岸東北自動車道の整備によって、本地域は北東北三県の中心に位置するという地理的な利点が明らかになります。そのため地域の中心都市間を結ぶ道路網を整備するとともに、新たな産業の育成や、都市機能の充実を図り、四つの中心都市を軸とした産業業務の拠点を形成します。

○自然環境、技術、スポーツ集積などを生かした拠点の形成  
白神山地に代表される自然環境との共生に重点を置きながら、木材加工、鉱業、地熱などの資源活用の技術分野での拠点、またバスケットボールや野球、スキーなど、スポーツ分野の拠点を形成します。

○文化、スポーツレクリエーション、福祉、居住環境に重点を置いた生活圏域の形成  
地域に根ざした文化の育成、市民レベルでのスポーツレクリエーションの振興、福祉関連事業の推進、良好な居住環境の整備に重点を置き、あらゆる人が豊かに暮らせる生活圏を形成します。

米代川流域地方拠点都市地域基本計画は、このように「職・住・遊・学」が調和した魅力あるまちづくりを目指しています。ドームや空港の建設、道路網整備、住環境の改善等を通して、県北部一帯は今、名実ともに北東北の中心都市へと変わろうとしているのです。